

# 第54回東海村地域福祉計画推進会議 議 事 録

- 1 日 時 令和2年7月28日（火） 午後5時30分～7時30分
- 2 場 所 原子力視察研修室
- 3 出席者 ・地域福祉計画推進会議委員（別紙名簿のとおり）  
・アドバイザー：稲垣美加子先生（淑徳大学教授）※Web会議出席  
・筑波総研：佐々木上席研究員，山川主任研究員  
・事務局：大内課長，山口補佐，渡邊係長，黒羽主任，福島主事，飛田

## 結 果（要点）

- (1) 委員長・副委員長の改選について  
委員からの自薦・他薦がなく，事務局から委員長に深谷委員，副委員長に根本委員を推薦したところ，全員一致で承認された。
- (2) 令和2年度実施予定に関する意見・質問への回答について  
事務局から，配布資料に基づき，各意見等に対する回答について説明を行った。
- (3) ニーズ調査結果（速報）について  
事務局から配布資料に基づき説明を行った。
- (4) 令和2年度スケジュールについて  
事務局から配布資料に基づき説明を行った。
- (5) 第4次地域福祉計画の方向性について  
事務局から配布資料に基づき説明を行った。
- (6) 基本理念・基本目標について  
グループ（A，B）に分かれ，第4次地域福祉計画における基本理念及び基本目標について協議した。  
⇒〈基本理念〉  
各グループで出された案をもとに事務局で検討する。副題として，みんなが仲良く繋がるという意味で，「ながよぐやっぺよ」を採用することになった。  
〈基本目標〉  
事務局案を参考に各自検討していただき，特段意見等が無ければ事務局案で進めることになった。
- (7) その他  
次回推進会議は，令和2年8月28日（金）午後5時30分から205会議室で開催することとなった。

## 1 開 会

### 2 アドバイザーごあいさつ（淑徳大学教授 稲垣 美加子 先生）

皆さんこんばんは。本来であればその場に出席したかったが、現在東京はコロナの影響で病原体のように扱われているので、皆さんにお会いできない。自宅からの出席とさせていただきます。

黒澤さん、澤井さんが逝かれ、東海村の地域福祉を共に考えてきた方々がいなくなってしまい、とても辛く、悲しく、寂しく思っている。だからこそ、皆さんと一緒にこれからの東海村のことを考えていきたいと心から願っており、できる限りのことをしていきたいと思っている。

コロナによって地域の在り方が大きく変わっていくのではないかと思っている。こういう時だからこそ、力を合わせて知恵を出し合い、東海村らしく、お互いを労り合い、この困難をくぐり抜けていくことが、黒澤さんや澤井さんに報いることでもあると思っている。その前にも既に旅立たれた多くの方々の顔を思い出す。みんなで顔を上げて頑張っていきたい。

早く皆さんと膝を交えて話し合いをしたいと思っている。

本日もよろしく願います。

※稲垣先生ごあいさつ終了後、黒澤達元委員長の御逝去に伴い、哀悼の意を表し1分間の黙祷

## 3 自己紹介

## 4 議 事

### （1）委員長・副委員長の改選について

委員からの自薦・他薦がなく、事務局から委員長に深谷委員、副委員長に根本委員を推薦したところ、全員一致で承認された。

#### 【委員長】

前委員長から半年ほど前に「俺はもう引退だから後は頼む」と言われた。その時はよく分からなかったが、彼自身が自分の身体のことをよく分かっていた上での発言だったのだなど今は思っている。直接お会いしてバトンを受け継げなかったことが残念である。彼の想いを受け継ぎ、皆さんの力をお借りして進めていきたいと思う。  
よろしく願います。

#### 【副委員長】

民生委員として10年間活動をしているが、社会情勢や環境の変化が著しく変化していると感じている。それでも福祉の根本は変わらないと思っている。そこを見ながら考えていきたい。この会議は若い方も多く、頼もしく感じている。これからは担う方々と一緒に頑張っていきたい。よろしく願います。

## (2) 令和2年度実施予定に関する意見・質問への回答について

事務局から、配布資料に基づき、各意見等に対する回答について説明を行った。

【稲垣先生】

コロナの影響で日本社会が大きく変わると思う。今まで誤魔化してきた問題が表面化してくるだろう。自立生活をしてきた人が急に貧困に陥ったり、孤立無縁化による認知症の進行等である。対面でコミュニケーションを取れる環境を地域福祉の中でどう作っていくのか、また感染症を踏まえた安心安全なコミュニケーションを考えなくてはならない。

## (3) ニーズ調査結果（速報）について

事務局から配布資料に基づき説明を行った。

【委員】

問18の「見守り等の支援が必要と思われる人がいるか」という問いについては、実際にいるが、地区社協の活動の中で上手く対応をできているので「いない」と回答した。

【委員】

回収率が3割程度は妥当なのか。回答者の半数が60歳以上だったので、回答について年齢による偏りが出るのが分かった。

【委員】

地域の助け合い活動を展開していく中で、本調査結果は住民に対して見せても良いか。

【稲垣先生】

公開されたものの二次使用は問題ない。活用する際は村に相談していただき、根拠として載せてもらえば良いだろう。

【稲垣先生】

「福祉」は人の暮らしを支えるものなので、出来れば全体に行き届くことが望ましいが、限られた時間、人、カネでやっていくので今回のようなニーズ調査を実施し、地域の実情に沿うよう焦点化していくことが現実的である。課題ばかり見ないで東海村が持っている力に着目して、それを伸ばしていくための計画にすることが大事である。将来的な課題を予測してそれに耐えうる力を付けていかないといけない。ニーズ調査を参考にしながらも、未来を予測していくことが大事である。

また、災害に対する住民の意識が高まっているが、被災地においては役場や社協も被災するので、手遅れにならないよう、非常時は地域が自分たちで避難所を作るという意識が必要になってくる。

20年間東海村に携わる中で感じたことは、以前は高齢者問題に対する意識が高く、自身の老後に関する関心が大きかったが、この調査を見ると、人権や女性、子ども等、関心の幅が広がっていると感じた。

過去の蓄積されたデータと比較しながら検討をしていくことが大事である。

【委員】

回答に偏りがあると感じた。得られたニーズがどこまで求められていくものなのか。また、これからの東海村を背負っていく若い世代の声を聴取していく必要があると感じた。

【委員】

このようなニーズ調査を初めて見た。面白いと感じた。大変勉強になった。

## (4) 令和2年度スケジュールについて

事務局から配布資料に基づき説明を行った。

⇒質疑なし

#### (5) 第4次地域福祉計画の方向性について

事務局から配布資料に基づき説明を行った。

⇒質疑なし

#### (6) 基本理念・基本目標について

事務局から配布資料に基づき説明を行った。

##### 【事務局】

- ・第4次地域福祉計画の策定に向けて、基本理念と基本目標について決めていきたい。
- ・東海村第6次総合計画や他市町村の例を参考にしながら各グループにおいて検討していただきたい。

##### 【グループA】

「地域」「支え合い」「つながり」「笑顔」「いきいき」「安心安全」というワードが候補に出た。それを繋いで、「地域で支え合い、みんなが繋がり、笑顔でいきいき暮らせる、安心安全なまちをつくる」という意見が出た。

##### 【グループB】

「ともに支え合い、誰もが地域で自分らしく生活できるまちをつくる」「躍動するまち」「輝く」「創ろう」「みんなで支え合う」という意見が出た。これからの若い人たちが創っていくまちとして、適当だと思われるものを選んだ。「支え合い」は大事だと感じた。

##### 【稲垣先生】

出された意見は、他市町村の理念と似ていると感じただろう。つまらないと感じている。コンサルの方が出席している中で申し訳ないが、コンサルがやるからこうなると思ってしまう。東海村の皆さんから教えていただいた「よっぺ しゃべっぺ くつつかって おれらのむらだから」みたいにはならないのか。キリスト大学生に聞いたが、「くつつかる」とは「一緒にいる」という意味のようだ。副題でもいいが、日頃から皆さんが大事にして、自分たちだから表現できるものがあると良いと思う。オリジナリティあるフレーズが良いだろう。

##### 【グループA】

みんなが仲良く繋がるという意味で、「ながよぐやっぺよ」はどうか。

##### 【事務局】

基本理念については、皆さんの御意見を参考に事務局でまとめさせていただく。副題については、地域みんなが仲良く暮らしていくという意味で「ながよぐやっぺよ」は良い案だと思う。採り入れさせていただく。

##### 【事務局】

基本目標は、事務局案を参考にさせていただき、御意見があれば後日でも良いので連絡をいただきたい。特になければ事務局案で進めさせていただく。

#### (7) その他

次回推進会議は、令和2年8月28日(金)午後5時30分から205会議室で開催することとなった。

## 5 閉 会